



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



「あまおう」の由来(甘王ではない)

福岡のブランドいちごといえば「あまおう」だが、このブランド名の由来は漢字表記の「甘王」ではない。

実は「あまおう」の名は公募で決まったもので「(あ)赤い」「(ま)丸い」「(お)大きい」「(う)美味い」の頭文字をとって付けられたものである。最初の「あ」を「甘い」と間違えやすいが「赤い」に由来している。

歴史は意外に浅く 2002 年が初出荷だが、今ではいちご業界でもメジャーな品種になっている。

あかい、まるい、おおい、うまい、の頭文字をとって名づけられた「あまおう」は、福岡県でのみ生産されているいちごです。いちご産地時代もなんのその、不動の人気を誇るいちごの王者は、海外でも広く認知され、高い評価を受けています。



アリナミンAの「A」とは？

武田薬品工業の『アリナミンA』はビタミン B1群誘導体が薬の主成分であり、ビタミンAが含まれているわけではない。では「A」は何を意味するかというと、一般向け用薬であることを示す社内区分記号である。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

昭和29年(1954年)に「アリナミン糖衣錠」を発売したのがアリナミンシリーズの始まりだが、この薬は旧陸軍から脚気(典型的なビタミン B1欠乏症)の治療薬の開発を依頼されたのが開発のきっかけとなっている。

(追記)脚気は歩行障害、意識障害などの中枢神経系障害や知覚障害などの末梢神経系障害を生じ、重症化すると死に至る重大な疾患。農芸化学者だった鈴木梅太郎博士が明治43年(1910年)、米ぬかから脚気の予防・回復に有効な成分の抽出に成功し、オリザニン(後のビタミン B1)と命名した。

ランニングマシンは元々健康器具ではない

ランニングマシン(ルームランナー)は和製英語で、英語ではトレッドミル(treadmill「踏み車」の意)といい、200年ほど前のイギリスで開発された。当初は囚人たちを産業の動力源として、複数の囚人たちに踏ませ巨大な外輪を回すことによるエネルギーで水をくみ上げたり、穀物を砕いたりする動力として使われていた。しかし、この長時間の作業は過酷を極めるものだった。

そこで、踏み車はその残虐性から、理想的な拷問器具として、監獄法によってイギリス各所に導入された。

しかし、1954年になり、米国で心臓や肺の疾患を診断する目的としての電動のトレッドミルが開発され、のちに改良が進み健康器具として使われるようになったのである。

銀座の柳

銀座通りに街路樹として柳が植えられたのは明治17年である。しかし、道路拡幅や関東大震災による消失で「銀座の柳」は壊滅状態になった。昭和4年に発表された歌謡曲「東京行進曲」が大ヒット、その冒頭に「♪♪昔恋しい銀座の柳」とあり、「銀座の柳」復活への機運が高まり、昭和7年には銀座4丁目の三越前で植樹式が行われ、銀座の柳は復活したのである。



そして、東京大空襲で過半を消失したものの、戦後に再度植樹され昭和26年には「柳まつり」が復活。その後、昭和43年の「銀座通り」整備のため多くの柳が日野市にある建設省街路樹苗圃に移植され危機に瀕したが、銀座の住民による復活運動で挿し木によって根付かせることに成功、現在は「三世柳」「四世柳」として育成されたのである。



娘子隊(じょうしたい)と中野竹子

会津戦争の悲劇の象徴としては「白虎隊」が取り上げられる。しかし、日本の歴史上、女性が戦いの最前線に出たのは会津戦争が最初で最後だったことを考えると(巴御前の場合は単騎での戦い)、娘子隊隊長・中野竹子の壮烈な戦死はやはり会津戦争でのシンボリックな位置づけとなる。竹子は幼少より聡明で、5~6歳の頃に小倉百人一首を暗誦して一字も誤ることがなかったという。容姿端麗、男勝りの女丈夫として知られた。

1868年(慶応4年)8月25日、中野竹子は額に銃弾を受け討死する。その首級は、政府軍に奪われることをよしとしない妹・中野優子により介錯(母が介錯したとの説も)、白羽二重に包み回収された。享年22(20、18の説もある)。

なお、娘子隊は、娘子軍、婦女隊との呼び方もある。これは藩の正式な組織ではなく、中野竹子らが、照姫を護衛するために自発的に組織したため。

また、中野竹子の辞世の句は、倒れた際に握られていた薙刀に結ばれていた「武士(もののふ)の猛(あつ)き心に くらぶれば 数には入らぬ 我が身ながらも」。